

平成28年度第1回長野市消防委員会

◇ 日 時：平成28年6月30日(木) 13時30分から

◇ 場 所：長野市消防局 3階会議室

1 開 会 出席者13名(13:30)

※ 欠席者：吉岡委員・大矢委員(2名)

2 会長あいさつ(13:31) 小林会長

3 あいさつ(13:33)

長野市消防局長 瀧澤消防局長

長野市消防団長 猪俣消防団長

4 自己紹介 消防局・消防団(13:40)

5 議 事

(1) 平成28年度消防局主要事業について(13:46)

※ 資料に基づき桜井次長説明

◎A 委員

消防年報の7ページでご説明いただきました「新たな消防防災教育体制」について、「総合防災情報システムの運用開始」というのは「高機能消防指令情報システム」のことでしょうか。総合防災システムとはどういうものか。

それと、「自主防災組織の育成強化」の中で、スケールメリットとはどういう意味か教えてください。

○桜井次長

最初の「総合防災システム」というのは、消防局ではなく、長野市総務部の危機管理防災課で構築している長野市全体の総合的な災害に対応するためのシステムということで消防局もそれに連携してやっていくものです。

それと「スケールメリット」という言葉につきましては、個々の小さいものだけで対応するのではなく、全体的な大きな枠の中でやっていくとメリットが出てくるというものです。全体の中でやり繰りをするというものです。

◎B 委員

住宅防火対策で、火災警報器の設置状況について、どのくらい設置されているのか。

○北村課長

昨年平成27年6月1日現在の設置推計率ですが、長野市が87.5%、全国又は県の平均に比べますと、5%くらい上の統計が出ています。

◎C 委員

住宅用火災警報器の設置率を教えてくださいなのですが、参考に教えていただきたいので

すが、全世帯ということで基本はお住まいになっている所になっていると思いますが、最近目にする空家の部分に関してはどのような対策をとっているのか。

○北村課長

空家につきましては、「緑を火災から守る運動」という中で、消防職員が普段の業務の中で、これは明らかに空家だなという物について、例えば、植木が繁茂しているだとか、ガラスが割れて無用心だなというお宅をピックアップしまして、誰がお住まいになったか分からないものは別にしまして、分かるようなお宅につきましては、施錠管理ですとか、火の用心など火災予防の啓発を郵送してお願い申し上げております。

◎A 委員

関連で、住宅用火災警報器の関係なんですけど、設置してから7.8年経過しているが、更新する時期になると思うが、更新についての啓発というかPRをどのように進めていかれるか、お聞きしたい。

○北村課長

各種イベントで設置するのお願いは勿論ですが、設置して10年がたっております。その中で、概ね電池の寿命はだいたい10年という目安になっておりますので、その中で、ピーピーと音が出てきましたら、早めの電池交換など維持管理をPRしております。

◎小林会長

古くなると音がするんですか。

○北村課長

はい、左様でございます。

◎D 委員

リチウム電池ですよ。ところが売っていない。量販店に売っていますか。

○北村課長

量販店にはないところもございますが、お買いになったところにお願ひすれば、電池はあると思います。

◎D 委員

最初に設置した会社によってはあるんですけども、取り替えるといっても特殊な電池なので、量販店にはない。だからそういう対策も考えてもらえれば、替えろ替えろといっても、10年も前のことだから、どこで買ったかも忘れていれば、買えない。

○瀧澤局長

おっしゃるとおり、ホームセンターではなかなか置いてございません。大型家電販売店に行くでございます。そこで住宅用火災警報器に付けたいんだけどと言うと、案内をしてくれますので、お買い求めいただけます。火災警報器に使用すると、小さなポスターで案内してあります。

◎A 委員

メーカーによっては、全て換えるものもあるんですか。

○瀧澤局長

あるそうです。

◎A 委員

買ったメーカーにお願いするということですね。

○北村課長

今は、だいぶ安くなっていきっておりますので、3千、4千円であると思います。

◎E 委員

防災センターがなくなってしまうが、後はどのようにお考えか。

○瀧澤局長

新たな防災教育ということで、東日本大震災以降、実効性のある訓練をした方がいいということで、もともと長野市は消防訓練と自主防災訓練の連携をしまして消防訓練の指導をさせていただいております。それを評価していただき、方向性としてはそういう形でやらせていただいております。

◎E 委員

よその都市に防災センターありますが、作る予定はございますか。

○瀧澤局長

今のところ、維持経費等のことを考えていきますと、一地方自治体で持つということは、なかなか難しい状況なので、ほかのところも県単位という形での施設で、大きな都市であれば持っているところはあります。新しい中央消防署の方にも、一応展示スペース、防災に関する用品等の展示スペースは設ける予定ではあります。

◎D 委員

地震体験車なんですけど、長野市では持っていない。県で持っている。そうすると防災訓練やる時に、当然、防災センターが無くなってしまふから、地元で地震体験をしたいが、北信に回ってくるのはいつ頃だと、簡単に断られる。やっぱり地震体験車というのは防災センターが無くなれば、ある程度使えるような体制にならないですか。

○瀧澤局長

県に1台ですので、決められた期間の中でお借りをするという形になりますし、市として大きなイベントの中で地震体験をとなると、担当している消防本部に連絡をしてやり繰りをしていただくことも可能です。基本的に先ほども申し上げましたが、東日本大震災以降、体験するよりも、実際自分でその動く訓練というか、実践的な訓練の方に力を入れていただいておりますので、地震体験はイベント的な要素が大きいところがありますので、直ぐに長野市で持つということは今のところ考えていない。

◎A 委員

できれば長野市消防局に1台お願いしたい。是非、要望としてお願いしたい。
中核市であるし、要望としてお願いしたい。

(2) 消防行政の概要について

ア 総務関係 (14:11)

※ 資料に基づき込山次長説明

イ 予防関係 (14:20)

※ 資料に基づき北村課長説明

ウ 警防関係 (14:28)

※ 資料に基づき杉田次長説明

エ 通信指令関係 (14:36)

※ 資料に基づき原山課長説明

オ 消防団関係 (14:45)

※ 資料に基づき猪俣団長説明

◎D 委員

指令課長にお聞きしたいんですが、デジタルになって、アナログの時は、消防局が着くと同時くらいに報道関係者が来ていたんですよ。デジタルになったら、それはなくなりましたかね。

○原山課長

多分それはないと思います。アナログ無線は誰でも受令機で聞くことができます。

デジタルにつきましては、消防の無線が傍受できないという秘匿性がのメリットがございまして、それで受令機という物も市販されておりません。消防関係者のみ、購入することができますということですので、消防団で買うとか、消防署で買う時以外は業者で販売できないようになっております。

◎D 委員

報道関係者は、火事場の中に平気で入ってくることで、消防団が整理をしている。慣れているからと言って、喧嘩になることも、あったらしいんですけども、デジタルになってそういうこともないとなれば、非常に良かったかなと思います。

◎A 委員

消防水利の関係で、河川の関係で集水ピットという、519箇所設置されています。54ページですかね。それで集水ピット設置してから大分年数が経っている。15から20年くらい経っていると思うが、場所によっては河川の中に入るはしごといいですか、手すりが取れているようなところも見受けられますので、総点検していただいて取れている部分を修理していただく、維持管理に努めていただけたらと思います。よろしくお願ひしたいと思ひます。

○込山次長

ご指摘ありがとうございます。随時、水利調査に併せまして、集水ピットの汚泥等、溜まっていれば排除など、年間を通して、毎回とはいきませんが、やっていることでございますけども、ご指摘がありますので、また後で場所等、教えていただければと思います。

◎C 委員

救助件数ですとか、地域によっていろいろな訓練をされている等、お話を聞きまして、初めていろいろな事をしているんだなと知ったところなんですけども、今、長野県においてもインバウンドということで、外国人のもてなしとか、受け入れするという体制を各自治体で力を入れていると思うんですけども、救助とか救急に行った時に外国人さんの救助のデータですとか、外国人向けの予防とか訓練とか体制というのは英語を話せる外国人はいいと思うんですけど、特に御開帳があったりして観光でも非常に外国人の方が増えていると思うんですけども、そういった外国人対応は、長野市では何か考えていますか。

○原山課長

今回、指令システムの更新に併せまして、今までは119番通報があった時には、指令台のところで、録音したテープを流すような形で外国語対応をしていたわけですが、昨年の9月から今回入れるシステム用に外国語の通訳サービスをとっております。現場に出動しました救急隊員から直接、通訳のところに電話をしまして、それで対象の外国人の方にしゃべって

いただいて通訳を受けるというそういうサービスを今、試験的に導入してまして、11月の本格事業の段階では正式にやっていくということでございます。ちなみに昨年の9月から運用開始以降、救急隊で3件使われております。

◎C 委員

通訳サービスの方は、国の種類というか、英語だとか、中国語だとか、何か国語対応されてますでしょうか。

○原山課長

英語、中国語、韓国朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語ということで、一応5か国、韓国朝鮮語は同じのようでございますので、5か国語でございます。説明によりますと5か国語に対応できれば、そんな問題にはならないだろうというふうに聞いております。

◎小林会長

通訳さんて何人くらいいらっしゃるんですか。

○原山課長

通訳は何人居るのかは把握していませんが、24時間365日その外国語については対応が可能だというふうに聞いております。長野市だけではなく全国から掛かってくるものです。

◎小林会長

ただ今いろいろご意見を出していただきました。可能なものについてご検討をお願いいたします。

(3) その他

◎D 委員

今日の会議は非常に充実した会議で、分かりやすかったと思います。大変ありがとうございました。事前にですね、2つほど質問状を出してありますけども、やはり消防委員の会議1回じゃ、理解がしきれないということで最低でも2回はほしいということで質問状を出しましたが、先ほど小林会長、それから瀧澤局長から今年度は2回やるということで非常に安心なわけですね。ただ今年度はということだったので次年度からは1回ですかね。

○瀧澤局長

年度ごとには考えているんですけども、基本は2回というふうに考えています。

◎D 委員

1期2年ということで、4回あるわけですね。やっぱり委員同士のコミュニケーションというか図られるように、4回のうち1回は会費制でいいですから、懇親会を持っていただけたら非常にありがたいかなと思います。

○瀧澤局長

ご要望があれば委員の皆様で結論を出していただければと思います。

◎D 委員

それと消防団長にお聞きします。先ほど、方面隊制の関係で、方面隊長は本部付だという話をされましたよね。昨年聞いたんですけど、副方面隊長、今分団長が兼務してますよね。

○猪俣団長

この4月1日から分けて単独で本部付けになっております。

◎D 委員

なぜそういう質問をしたかということ、分団の団員扱いだと聞いたんですよ。団員扱いじゃ、

1, 2年は分団長経験者が、副方面隊長になればみんな知っているけれども今、団の勤続年数を見ると5年以内が非常に多くなっている。5年経つと一般団員がなんで副方面隊長で威張っているんだという形になるといけないということで質問したわけです。だから団本部付ということであれば問題ないと思います。

○猪俣団長

ご質問いただきまして、ありがとうございます。昨年4月に入る前に方面副隊長について今まで分団長兼務ということでありました。そんな中で、先ほどちょっと触れたんですけども、やはり災害に対して迅速的確な対応ができるようにということで、分団長兼務を外しまして単独で本部員ということにしています。これは先ほど言ったとおり今年、来年と試行的に行いまして再来年からはこの体制がよければ完全なる副方面隊長が本部員で、階級を今は平団員ですが、今度は分団長の階級にしたいと考えています。それで方面副隊長になるには各ブロックの分団長の経験を経て、それで副方面隊長になる。推薦で上がってきた方は、分団長という立場で階級は分団長の立場でやっていただくという予定であります。

◎小林会長

最後に私から1点申し上げたいと思います。今年の春先広報ながの3月号に市が実施した27年度のまちづくりアンケートの結果が掲載されております。この中で現在市が実施している施策の満足度を調査しておりまして、委員さん方、すでにご存知かと思いますが、市の施策の中で満足度が一番高かったのが、消防や救急救命活動が迅速かつ適正に行われているという項目が一番高く、市民の約7割69.6%の方が満足しているというふうに答えていました。しかもトップというのが2年連続ということも書かれてまいりました。消防局、消防団の方々の日頃の活動が市民から高く評価されているということで、私どもとしても大変にうれしく、改めまして敬意と感謝を申し上げたいと思います。一方、評価が高いということは、それだけ期待が大きいということだと思っておりますので、こういう評価が長く続いていくようお願いを申し上げたいと思います。

これで以上で議長の任務を降ろさせていただきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

(事務局)

消防局の主要行事と消防委員の皆様方の参加行事等について説明

長野市総合防災訓練が8月28日の日曜日に柳原小学校を主会場に実施されます。また、来年の1月7日土曜日には平成29年長野市消防出初式を長野市芸術館で開催し、委員の皆様にはご案内申し上げますので、ご出席について、よろしく申し上げます。平成29年2月頃に第2回目の消防委員会を開催予定です。

消防局の現況など、主な動きについては、消防局のホームページにも随時、掲載させていただいておりますので、ご確認をお願いしたいと思います。

重要な事項等については、随時、情報提供をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

◎小林会長

先ほど委員さんからご提案のありました懇親会について、皆さんどうでしょうか。よろしいでしょうか。皆さんよろしいということをお願いいたします。

○瀧澤局長

次回2月頃の会議の後ということをお願いします。

6 閉 会 (15 : 15)